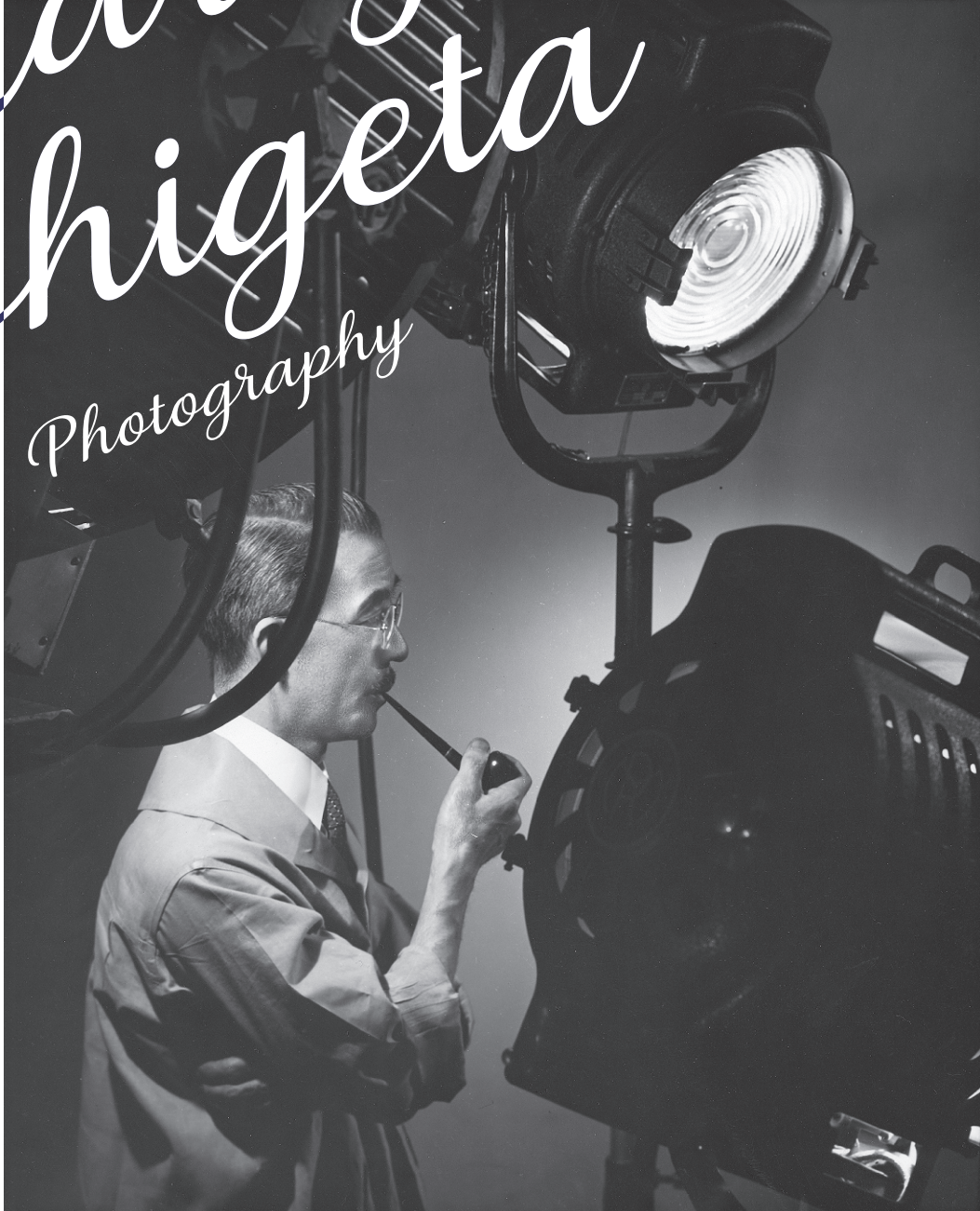


Harry. K. Shigeta

Photography



〈セルフポートレート〉1940年

上田市立美術館コレクション展

ハリー・K・シゲタ

Photography -光で描く世界-

2019.4.20^土 - 6.2^日 9:00 - 17:00 (最終入場 16:30)

Harry.K.Shigeta

Photography

上田市立美術館コレクション展

ハリー・K・シゲタ Photography -光で描く世界-

〈Photograph〉—写真を意味するこの言葉は、今から約180年前、ウィリアム・ヘンリー・フォックス・タルボットによって写真技術が発明されたときに、天文学者ジョン・ハーシェルが“photo(光)”と“graph(描く)”という2つの言葉を組み合わせて創案したといわれています。この〈Photograph〉の誕生から約50年後、ハリー・K・シゲタ(1887-1963)が上田に生まれました。彼は15歳で単身渡米し商業写真家となり、1930年、シカゴに「シゲタ・ライトスタジオ」を設立。彼の手掛けた写真は他の商業写真にはない芸術的表現をもち、アメリカの企業を、そして消費者を魅了したといえます。

シゲタの芸術表現とはどのようなものだったのか。彼の作品群を紐解くと、「写真を絵画のように自由自在に表現したい」という考えのもと、「光」を巧みに操り、考え抜かれた構図と卓越した写真修整技術を用いて、まるで絵画を描くかのように写真を作り上げる姿が浮かび上がりました。本展では、約40点の作品からシゲタの写真術と芸術表現を探るとともに、国際的商業写真家として活躍した彼の足跡を辿ります。現実と幻想の狭間を見るかのような光で描かれた写真、ハリー・K・シゲタの世界をお楽しみください。

ハリー・K・シゲタ(Harry.K.Shigeta) 1887-1963

1887年、上田市原町に生まれる。日本名、重田欣二。15歳で単身渡米し、ハリー・K(キンジ)と名を変える。ミネソタの美術学校で広く美術を学ぶも、デッサンに利用していたカメラに興味を持ち写真家へと転身。写真の修整技術を磨く。その後、商業写真家となり、1930年、シカゴに「シゲタ・ライトスタジオ」を設立。高い技術と洗練されたデザインが話題を呼び、アメリカ有数の企業へと成長を遂げる。また、後継者への育成にも尽力。講演会や研修会を通じ、自らの写真術や技法を余すところなく教えるその姿は多くの人々に支持され、1949年、アメリカ写真家協会名誉会員の称号を授与。国際的商業写真家としてその名を広めた。

会期 2019年4月20日(土) - 6月2日(日)

〈時間〉9:00~17:00(入場は16:30まで) 〈休館日〉火曜日(祝日の場合はその翌日)および5月8日(水)

観覧料 一般300(250)円 大学・高校生200(150)円 小・中学生100(80)円

※()内は20名以上の団体 ※障害者手帳携帯者とその介助者1名は無料

会場 サントミュージゼ 上田市立美術館2階展示室 主催 上田市(上田市立美術館) / 上田市教育委員会



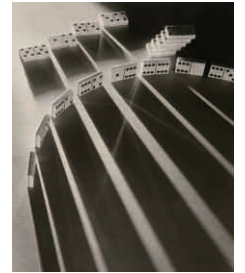
〈ふぶき〉1925年



〈干潮〉1945年



〈水ざわ〉1920年代



〈ドミノバイ〉1928年

サントミュージゼ
UEDA SANTOMYUZE

<https://www.santomyuze.com/>

関連企画

光のデザイン! サイアノタイプ体験

ジョン・ハーシェルが発明した、太陽の光に反応して影が浮かび上がる不思議な青い写真「サイアノタイプ(日光写真)」を体験しよう!

日時: 4月28日(日) 10:00~15:00 料金: 800円(コレクション展の観覧料を含む)
対象: 小学校4年生以上 定員: 15名
(親子、大人の方のみの参加可) 会場: 子どもアトリエ

申込方法等詳細はホームページにてお知らせします。

ギャラリートーク

学芸員が作品解説やシゲタの人柄などをお話します。

日時: 5月12日(日)、5月25日(土) 13:30~

ナイトミュージアム

5月18日(土)は開館時間を19:00まで延長します。(最終入館は18:30)

サントミュージゼ 上田市立美術館

〒386-0025 長野県上田市天神三丁目15番15号
休館日: 火曜日(祝日の場合は翌日)および5月8日(水)
Tel.0268-27-2300

上信越自動車道「上田菅平I.C.」から車で約15分/
北陸新幹線、しなの鉄道、上田電鉄別所線「上田駅」から徒歩約7分

